

のアルバム

めざすは関西大会優勝！

▼3月17日 市役所

2月に開催された「第38回木下杯サッカー滋賀県大会」において、昭和57年創部以来初めて優勝した北野サッカークラブの選手たちが山仲市長を訪問しました。

滋賀県代表として3月28日～30日に堺市で開催された「フジパンカップ関西小学生サッカー大会」に出場し、予選順位3位トーナメント（ブロンズトーナメント）で、みごと優勝しました。



▼3月20日 市役所



未来のプロプレイヤー

野洲ジュニアソフトテニスクラブ・野洲ソフトテニスクラブの選手たちが、「第14回全国小学生ソフトテニス大会」と「第26回都道府県対抗日本中学生ソフトテニス大会」の全国大会出場に向け山仲市長へ決意表明を語り、市長から激励を受けました。

また、選手たちは、9年後に滋賀県で開催される第79回国民大会の出場選手をめざしたいと意気込みを語っていました。

地域防災の充実のために

▼4月4日 野洲防災センター

野洲市消防団では、防災体制のさらなる充実・強化を図り火災予防や警防活動等をより幅広く行うため、4月から新たに「北野分団」を発足しました。

市は、分団の活動拠点施設として、野洲防災センターの施設の一部を改修、分団詰所および車庫を整備し、4月4日に開所式を行いました。

消防団員の皆さんには、市民の皆さんの安心・安全の確保に向け日々消防防災活動にご尽力いただいています。



歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

128

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

すみけ 三上藩士、鷺見家の歴史

鷺見氏の出自は藤原氏で、平安時代の人物、藤原頼保よりやすを始祖としています。大正13年（1924）刊行の『鷺見家史蹟』によれば、元暦2年（1185）、頼保とその子重保しげやすが美濃国郡上郡鷺見郷（岐阜県）に来住して以降、子孫が同地に居住し、「鷺見氏」を名乗るようになったとあります。

戦国時代には、同じく郡上八幡で勢力をもっていた遠藤氏（のちに三上藩主）と争うこともありましたが、鷺見兵庫ひょうごなる人物が、遠藤盛数もりかずに従うようになりました。「鷺見家系図」によると、兵庫の息子である道徹どうてつも遠藤氏に仕えており、江戸時代に三上藩士として活躍した鷺見氏は、この道徹の末裔まつえいとなります。つまり、戦国時代に鷺見兵庫・道徹親子の系譜を引く一族が遠藤氏に仕えて以降、主従関係は江戸時代に入っても続いたのです。

元禄11年（1698）、三上に遠藤家の陣屋（支配地における大名の屋敷）が設置されてからは、鷺見家は同地に居住し、陣屋につとめています。たとえば、鷺見家の人々が三上藩内において担った役職を記録した「重勤録」などから、鷺見藤三郎とうさぶろう（1774～1831）は、大目付・破損役・元メ（締め）なんど おくがかり・納戸・奥懸、代官など、三上において多くの役職を務めていたことが確認できます。また、武具が残されており、今回は鷺見家伝来具足を初公開しています。これは、胸の布地に骨牌鉄かるたがねを鎖くさりで繋ぎ留める形式かっちゆうの甲冑けんはなで、「劍花菱けんはなびし」の家紋を入れています。

その他にも初公開となる由緒のある琵琶たつた「龍田」など、開催中のテーマ展「三上藩・藩士鷺見家の歴史」では、鷺見家に伝わる貴重な資料を紹介しています。ぜひご観覧ください。

（博物館学芸員 齊藤慶一）



初公開 鷺見家伝来具足
（個人蔵）



送迎車両のお披露目

デイサービスセンターあやめの里において、日本財団福祉車両助成事業により「車いす対応車両」が配備され、お披露目式が行われました。

車いすの利用者4人も安心して乗車でき、施設を利用していただけます。

カラフルな車両が市内中を回ります。

▼3月24日 あやめの里



災害時の電力確保

大和リース(株)から野洲小学校に「大型リチウムイオン蓄電池内臓の移動型・室内蓄電システム」2台が寄贈されました。

市では、災害避難場所でもある野洲小学校に設置することで、災害時の一時的な電力の確保や、子どもたちの環境教育に活用したいと考えています。

▼3月25日 市役所

